

あなたの人生経験をこれからの作業療法に活かしながら
作業療法士として、協会の仲間として、いつまでもともに輝いてほしい

「あらゆる会員のかがやく未来を拓げる」 一問一答 5つのメッセージ

「誰もが主役・かがやきプロジェクト」チーム

昨年度、20～30代の女性会員にヒアリングを行い、多くの女性会員が結婚・出産・育児等のライフイベントで研修会に参加できず、不安や準備不足を感じていることがわかりました。本会はこれを受け、「誰もが主役・かがやきプロジェクト」を設置し、今年度は20～30代女性会員の支援に取り組むことにしました。まず、本誌を通じて、女性会員の不安や困難をみえる化し、協会全体の課題として共有することにしました。そのような不安の声に対して、「かがやく未来を拓げる」一問一答でメッセージをお返しするかたちで皆さんに共有いたします。また、今回は多くの方よりあたたかい回答メッセージをいただいたことから、誌面のデザインで優しく、あたたかなイメージを表現してみました。ぜひお気軽にお読みください！

1. 学会や研修会に参加できません

オンラインも積極的に

子どもや夫の予定、家事の調整、お金……を考えると、学会や研修会に足が遠のきがちになりますが、私は**オンラインも積極的に**利用しています。

オンラインだと**急な予定の変更**（子どもの熱発！）があっても大丈夫、**自分のペース**で勉強できる、**家族との時間も大切に**できるので満足度も高いです。オンデマンド配信の時は家事をしながら、ランチの時間等、**隙間時間も**使っています。オンラインの研修会や学会で知り合った方と**次は対面で**会いたい**など考えるのも**楽しみの一つです。

（名古屋大学 星野藍子）



本当はもっと勉強したいのに、仕事も家庭も忙しくて、時間がつくれず……なかなか参加できません。

学会も子どもと一緒に

夫婦ともに作業療法士として勤務しながら、5歳の息子の子育てをしています。出産後、学会には足が遠のいてしまいましたが、今は**子連れで学会参加**をしています。託児室を用意してくださる学会や、「子連れ歓迎」を謳ってくださる学会も増え、**子連れでも参加しやすい雰囲気**です。

何より運営の方々・周りの参加者の方々があたたかく見守ってくださり、とても有り難く、嬉しく思っています。

（楠メンタルホスピタル 吉原絵理）



教育部より

日本作業療法士協会は、会員の皆様が**スキルアップ、キャリアアップ**できる**充実した教材**を準備していきます。

具体的には、2025年度から**生涯学習制度**がスタートします。この制度では**オンデマンドによる70コンテンツ**がすべて**無料**で視聴できます。今後は、産休中や育休中でも学びを継続できるシステムをより強化し、作業療法士免許を有する皆様が**いつまでも輝き続けられる未来**をしっかりと**サポート**して参ります。対象者の方々に**選ばれる作業療法士**と一緒に目指しましょう。

（教育担当常務理事 早坂友成）



妻が研修や学会で**研鑽する姿勢**が刺激になり、自分の学びにもつながります！**日程調整等はお互いに協力**合っています。

（名古屋市総合リハビリテーションセンター 吉原理美）

ライフイベントの最中
にある世代向けの
情報はどこに記載され
ているのでしょうか？



LINE登録は
ココから！



日本作業療法士協会
公式LINE

2. 情報がどこにあるかわかりません

制作広報室より

会員の皆様には、月1回の協会誌（紙媒体・協会ホームページへの掲載）、会員ポータルサイト、ホームページでの会員向けのページに加えて、Facebook、X（旧Twitter）、LINE等のSNSでも随時発信しております。特にLINEは定期的にコンパクトに情報をまとめて発信しております。LINEは左記のQRコードよりご登録いただけます。新卒者や産休・育休中の方向け等、随時発信していますが、それぞれの状況の方々に合わせた情報をまとめて発信していくことも今後検討して参ります。

（広報担当常務理事 関本充史）



3. この先のキャリアがみえません

教育部より

eラーニングコンテンツは、隙間時間を活用して視聴が可能です。現在、専門作業療法士取得研修を中心に複数のコンテンツを配信しています。また、無料コンテンツの「子育て・介護を担う女性作業療法士の働き方～子育てしながらイキイキと働くために～」では、ライフイベントと仕事の両立について、ママOTの声を聞くことができます。ぜひご覧ください。

（教育部員 長谷麻由）



がんばりたいけど、ライフイベントがあるなかでどんな風に働けるのだろうか？身近にモデルになるような人もいないので、続けていくのが不安です。



誰もが主役！

キャリアにはいろいろなカタチがあって大丈夫なのです。クライアントとのかわりのなかで自分が好きだなと思えることを積み重ねていくと、いつの間にか自分らしいキャリア（作業療法）になっていきます。また、協会の研修会や学会でいろいろな人の話を聞いたりするのも良いかもです。「誰もが主役 多様な協会へ」（p.16～19）にもさまざまな作業療法士の働き方を連載予定ですので、ぜひ参考にしてみてくださいね。

（「誰もが主役 多様な協会へ」担当理事 高橋香代子）



仲間探しを

家庭とのバランスを保つために、育児時短勤務期間終了後からパートに切り替えて回復期で働き続けています。仕事、主婦として母として毎日忙しいですが、そのなかでも自分のキャリアを大切にしたいという想いは強く、院内外で仲間と一緒に日々奮闘しています。身近にモデルとなる人がいない時は学会やSNS等、一步外の世界を覗いてみるのはいかがでしょうか？そこに大切な出会いやつながりがあるかもしれません。やっぱり、独りでがんばり続けるのは大変です。

ともがんばっていきましょう！

（偕行会リハビリテーション病院
川口悠子）



4. 子育て中のブランクが心配です

長期間休んでいたの、
作業療法士としてやって
いけるか不安がいっぱい
です…



教育部より

生活をみる作業療法士だからこそ、
**ライフイベントに向き合っている時間そのものが
作業療法士としての視点を広げることにつながり、**
これからの支援の幅、そしてキャリアに活かされると
思います。

しかし、育児等で現場から離れる期間があると**不安
な気持ちになるのは当然**です。その不安を少しでも
軽減できるよう、私たちはどのような研修体制が求
められているのか会員の皆様の声に
耳を傾け、**全力でサポート**いたします。
(教育部長 竹中佐江子)



育休経験が糧に！

「作業療法士としての私は、誰かに代わってもらえる。
でも、**母としての私の代わりはない**」

私は現在21歳、16歳、11歳の3人の子供がいます。
母としての自分と作業療法士としての自分、やりたい
こととやれること、**限られた時間のなかで、たくさん
のジレンマや葛藤**がありました。

子どもたちの成長とともに、そのバランスが少しずつ
変わってきた今、地域というフィールドにおいて、
これらの経験が、「**その人の生き方**」にスパイスを
加える**作業療法士としての仕事の糧**になっています。
人を大切にする作業療法士として、**この経験は、と
ても貴重**だったと実感しています。

(障がい相談支援センターまるおか
吉岡恵美)



5. がんばることに疲れちゃいました

知っていますか？ 休会制度

総務部より

スランプに陥った時等は、思い切って
士会や協会の集まりに顔を出してみては
いかがでしょうか。

同じ悩みを抱えている人と出会えたり、新たな発見や明日への
励ましが得られるかもしれません。たとえ**いったん休職**すると
か、**職場を変える**ことになったとしても**士会や協会は作業療法
士同士のつながりを保つ命綱**になります。退会してしまうので
はなく、「**休会**」という**選択肢**があることも覚えておいてくだ
さいね。
(総務部長 宮井恵次)



いろいろな理由で作業
療法士としてがんばり続
けることに少し疲れてい
ます。このままやってい
けるか不安です。作業療
法士を辞めることも考え
てしまいます。

休会制度や研修会の
詳しい情報は**ココ**から！



休会制度



研修会

始まります！ 女性会員編

かがやきプロジェクト

プロジェクトより皆さんにメッセージ

ご覧になった方のなかには、「若手女性だけのためのプロジェクトなのかな?」「女性だけが取り上げられることにちょっと抵抗があるなあ」と思われた方もきっといらっしゃると思います。

今年度は会員のなかでも特に若手（20-30代）の女性にフォーカスを当てていますが、このなかで取り扱われることは**その枠に留まらず、さまざまな方に当てはまる**と考えています。実際にプロジェクトでは、アンケートやヒアリングを通して、**さまざまな世代、性別の方に共通する悩みをこの世代の女性がもっていることを把握**しました。どうか「若手女性だけ特別扱いね」と思わずに、**ぜひご興味・ご関心をお寄せください**。

一方で、**この世代の女性が特有に抱える苦しさや大変さがあることもまた事実**です。私たちは、彼女たちを応援することを通して、**会員の皆様がそれぞれを理解し合い、一緒に作業療法を発展させるための土壌**をつくっていきたくと思っています。それらが働きやすく、学びやすく、対象者へより良い作業療法を届けることにつながると信じ、プロジェクトを進めて参ります。

さらに、このプロジェクトは**その世代の女性の周りで応援してくれている方、彼女たちと悩みを共有し、ともに戦っている方を支えるプロジェクト**でもあります。もしかすると、当事者である若手女性のなかには本誌を手取る暇もなく日常生活に追われている方もいるかもしれません。そんな時は、可能であれば**本誌を共有、紹介いただき、一緒に活用**していただけたらこんなにうれしいことはありません。

（プロジェクトメンバー一同）

今月の協会誌をご覧になり、各Q & Aに対する皆さまのお答えやご不安等ございましたら、ぜひ右記QRコードよりぜひご意見をお寄せください！
（2024年9月末まで）



今後の予定

- **制度や研修の調整**：さまざまな制度や研修等の利便性を高めるための働きかけや調整
- **イベント開催**：会員同士のつながりを高めるイベントの開催

本プロジェクトの位置づけ

事務局総務部

「誰もが主役 多様な協会へ」推進チーム
かがやきプロジェクト 女性会員編



本プロジェクトは「誰もが主役 多様な協会へ」を目指し、会員のさまざまな活動や動きを応援し推進することを具体的に取り組むものです。

私たちが
プロジェクトメンバーです

